

駐在員だより 「日本の自然、文化遺産のパネル展示」

平成 28 年（2016 年）3 月 15 日（火）から 4 月 15 日（金）まで、ミシガン州の州都ランシング市庁舎で、“World Heritage Site Photo Panel Exhibit”（世界遺産写真パネル展示）が行われています。3 月 14 日（月）に開催されたレセプションに参加しました。

この展示は、国際交流基金 JOI（Japan Outreach Initiative：日米草の根交流コーディネーター派遣）プログラムのコーディネーターとしてミシガン州立大学アジアセンターに派遣されている金田紗弥さんが企画され、実現したものです。

国際交流基金は様々な事業に取り組んでいます。日本文化の発信の一つとして、国際交流基金が所有するユネスコ世界遺産リストの日本の自然、風景、文化遺産等のパネル展示を行う事業があります。この事業の一環として、ランシング市庁舎での展示が行われました。

展示会レセプションでは、バネーロ市長は「大津市に行ったことがある。大津では、心からのおもてなしを受けた。これは本当に素晴らしかった。大津だけでなく、他でもそうだった。日本全体がそうなのだろう。その日本の展示をランシング市庁舎で開会できることをうれしく思う」と語りました。

写真パネルは、法隆寺の五重塔、原爆ドーム、宮島、金閣寺、銀閣寺、比叡山延暦寺等がありました。ミシガン州立大学で日本史を教えておられるイーサン・セーガル准教授が、パネルの写真について説明されたのですが、それぞれの歴史的背景について、詳細に話されたことに驚きました。



左から 3 人目に金田さん、右から 3 人目にバネーロ市長、右から 2 人目に和田在デトロイト総領事



セーガル准教授による説明の様子